

各位

2022年5月31日
弥生株式会社

7年連続で個人事業主向けクラウド会計ソフトシェア No.1 を獲得 -MM 総研調査(2022年4月末)で利用シェア 53.9%-

弥生株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岡本 浩一郎)は、株式会社 MM 総研が 2022 年 5 月 25 日に発表した「クラウド会計ソフトの利用状況調査(2022 年 4 月末)」において、個人事業主のクラウド会計ソフト市場における利用シェア No.1 を獲得しました。当該調査におけるシェア No.1 の獲得は、7 年連続となります。

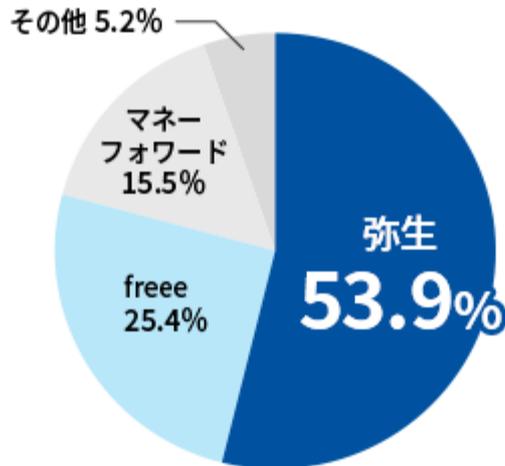
弥生は、クラウド会計ソフトに加え、個人事業主向けデスクトップアプリ「やよいの青色申告」でも 18 年連続売上実績 No.1^{*1} を獲得しており、個人事業主向け会計ソフト市場で圧倒的な支持をいただいています。



2016 年から開始した同調査において、弥生は毎年 50%以上のトップシェアを維持し、2022 年調査では 53.9%の利用シェアとなっています。

弥生の個人事業主向けクラウド会計ソフト「やよいの青色申告 オンライン / やよいの白色申告 オンライン」は、弥生シリーズ^{*2}のひとつとして 2014 年から提供を開始しました。本ソフトを利用することで、はじめての方でも、確定申告資料を簡単に作成することができます。自動で取引データを取り込み AI が自動仕訳する機能「スマート取引取込」、確定申告データを直接 e-Tax へ送信できる機能「確定申告 e-Tax モジュール」「確定申告 e-Tax オンライン」、日々の取引を入力できるスマートフォンアプリ『弥生 申告』の提供など、個人事業主の業務効率化の促進に注力しています。

1 クラウド会計ソフトの事業者別シェア（単一回答）



※株式会社MM総研が発表した「クラウド会計ソフトの利用状況調査(2022年4月末)」を元に弥生にて作成

2 クラウド会計ソフトの事業者シェアの推移（単一回答）



※株式会社MM総研が発表した「クラウド会計ソフトの利用状況調査(2022年4月末)」を元に弥生にて作成

* 上記シェアは小数点第2位を四捨五入しているため、100%にならない場合がある。(株式会社 MM 総研の発表から抜粋)

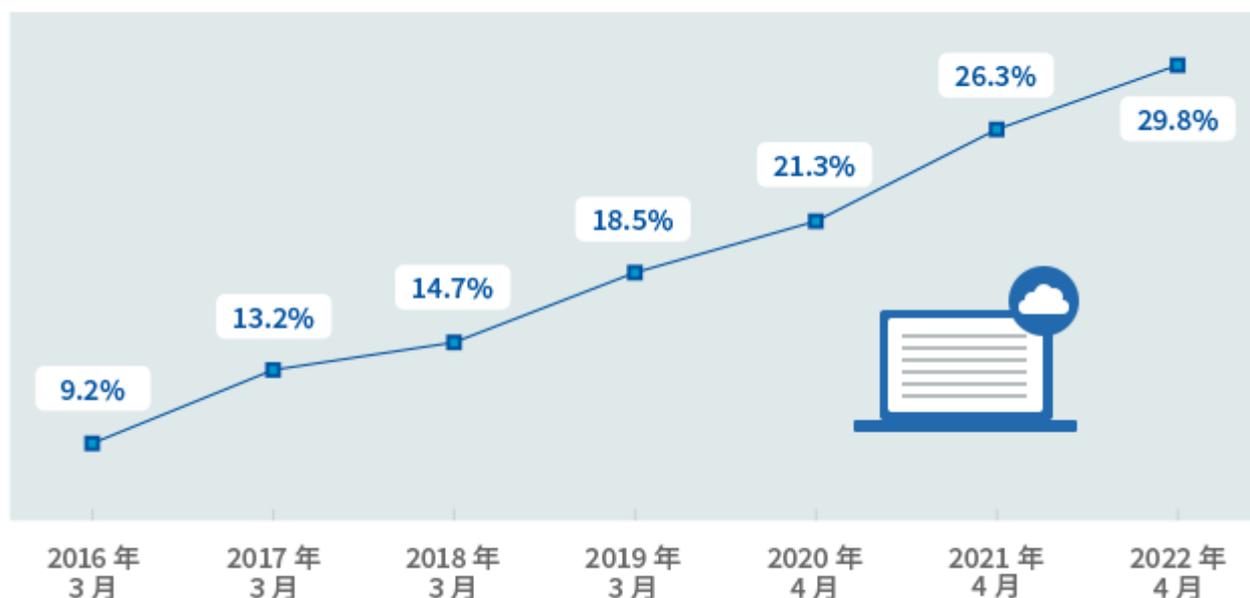
■個人事業主のクラウド会計ソフト市場の動向

「クラウド会計ソフトの利用状況調査(2022年4月末)」によると、会計ソフト利用者に占めるクラウド利用率は年々上昇し、今回の調査では29.8%にまで拡大しています。昨年の26.3%から3.5ポイント増加となり、2016年の調査以来、最も高い利用率となりました。

当該調査によると、利用率増加についてはクラウド会計ソフト市場の拡大を後押しする要因は、政府による行政手続きのデジタル化であるとしています。政府は2019年に成立した「デジタル手続法」に基づき、2024年度中に行政手続きの9割を電子化する方針を掲げ、様々な施策を打ち出しています。税務面では青色申告特別控除の制度変更もその一環となっており、前回の確定申告から、従来の紙をベースとした申告では、青色申告特別控除の

金額が 65 万円から 55 万円に減額されましたが、インターネット経由で確定申告書を提出する(e-Tax 利用)、もしくは電子帳簿保存に対応したソフトを導入すれば 65 万円控除の優遇措置を受けることができます。この税制改正は個人事業主に対し、デジタル化のメリットをより明確にし、クラウド利用率の拡大につながったと見ています。

3 会計ソフトに占めるクラウド会計ソフト利用率 (単一回答)



※株式会社MM総研が発表した「クラウド会計ソフトの利用状況調査(2022年4月末)」を元に弥生にて作成

※1 全国の主要家電量販店・パソコン専門店・ネットショップ 2643 店舗店における POS 実売統計で、弥生は 2021 年の年間最多販売ベンダーとして最優秀賞を獲得。(申告ソフト部門: 18 年連続受賞) - 株式会社 BCN 調べ

※2 弥生シリーズは、中小企業、個人事業主、起業家などスモールビジネス事業者のバックオフィス業務(会計、給与計算、販売管理、顧客管理)を支えるソフトウェアです。「かんたん、あんしん、たよれる。」をコンセプトにクラウドアプリケーションとデスクトップアプリケーションをご提供

「クラウド会計ソフトの利用状況調査(2022年4月末)」

1. 調査対象: 個人事業主 / 令和 3 年 (2021 年分) の確定申告実施者
2. 回答件数: 22,122 件
3. 調査方法: Web アンケート
4. 調査時期: 2022 年 4 月 16 日 ~ 25 日
5. 調査実施会社: 株式会社 MM 総研

URL: <https://www.m2ri.jp/release/detail.html?id=536>

弥生の「確定申告ソフト」

弥生の「確定申告ソフト」は、初めての方でも、確定申告資料が簡単に作成できます。面倒な帳簿付けも、簿記知識も不要です。申告形態やご利用環境に合わせて、クラウドアプリとデスクトップアプリからお選びいただけます。

- ・やよいの青色申告 オンライン(クラウドアプリ)
- ・やよいの白色申告 オンライン(クラウドアプリ)
- ・やよいの青色申告 22(デスクトップアプリ)

詳細については <https://www.yayoi-kk.co.jp/products/shinkoku.html> をご覧ください。

【弥生株式会社について】

弥生は、中小企業、個人事業主、起業家の事業を支える社会的基盤(インフラ)として日本の発展に能動的に貢献することを使命としています。そのために、お客さまの事業の立ち上げと、発展の過程で生まれるあらゆるニーズに対応する「事業コンシェルジュ」を目指して、「弥生シリーズ」や「事業・業務支援サービス」を開発・提供・サポートしています。

代表的なサービスである「弥生シリーズ」は、クラウド会計ソフト7年連続利用シェア No.1 デスクトップアプリで23年連続売上実績 No.1 を獲得しており、登録ユーザー数は250万を超えました。「事業・業務支援サービス」は、起業・開業ナビ^{※3}、資金調達ナビ^{※4}、税理士紹介ナビ^{※5}など、業務ソフトウェアの枠を超えたサービスを提供しています。2020年より社外活動として、社会全体のDX推進に取り組む団体^{※6}の立ち上げを主導するなど、事業者の圧倒的な業務効率化の実現に向け活動しています。

弥生の詳細については <https://www.yayoi-kk.co.jp> をご覧ください。

※3 2021年3月31日付プレスリリース:「[起業・開業ナビ](#)」サービス開始

※4 2021年10月29日付プレスリリース:「[資金調達ナビ](#)」サービス開始

※5 2021年12月13日付プレスリリース:「[税理士紹介ナビ](#)」サービス開始

※6 立ち上げた2団体。[2020年6月「社会的システム・デジタル化研究会」](#)、[2020年7月「電子インボイス推進協議会」](#)